

会 議 録

件 名	令和4年度第2回久留米市三潯生涯学習センター運営委員会
日 時	令和5年3月23日（木）午後2時より
場 所	三潯生涯学習センター 第2研修室
出席委員	内田すなを委員、寺崎文子委員、平尾光位委員、渡邊美也子委員、 田添和夫委員、佐野淳委員、高松恵子委員、田中良介委員、 田中俊博委員、山下和代委員、田中國比古委員、古賀文雄委員、 田川英和委員、弥吉正孝委員 計14名
欠席委員	境二三子委員
事務局	三潯総合支所文化スポーツ課 酒見課長、外山課長補佐、末安主査、長沼主任主事
傍聴者	なし
会議概要	1 開会 ・田中良介委員長挨拶 ・酒見賢次三潯総合支所文化スポーツ課長挨拶 2 審議事項 （1）令和4年度久留米市三潯生涯学習センター事業報告 事務局から、「令和4年度久留米市三潯生涯学習センター事業報告書」に基づき説明。 渡邊委員） 青少年健全育成事業（フレンドリー）にはたくさんの応募がある。例年よりも多くなっていると感じた。定員が各回48人だが、抽選になっているので、全学年が対象とは思うが、応募が多い学年はあるのか。応募が多くて参加できないというのがあれば、例えば、上級生である4年生以上など学年を絞ってもいいのではないか。縦割りで実施しているのも良いが、かなりの応募者が参加できないのはどうかと考えるが。 事務局）フレンドリーは小学校3校に募集をかけている。応募の状況は、高学年ほど減って、高学年は十数名、低学年が多くなっている。学校ごと学年を割り振って均等になるようにしており、高学年が体験学習を班の中で指導することになる。スタッフの数と施設の広さ、それと班分け

の体制として一班6人で8班作っている。参加者が多くなるとうまく進行できなくなる。そのため参加人数を制限させて頂いている。

A委員) コロナが終息に向かっているとはいえ、コロナで活動が鈍っている部分もある。事業計画に基づいて実施をされて、昨年実績に比べて、活動が多くなっていると認めれるので、かなり良かったと評価する。次の事業計画で発言すべきかもしれないが、マンネリ化を防ぐように少しは変化するような取り組みをお願いします。

運営委員になって2年だが、中身が分からないので、外部から見てみたいと考えていたが、年2回の運営委員会では十分なことは出来ない。

事務局) 運営委員会については年度当初と年度末とさせて頂いている。広く地域の方々に参加頂いて、この施設の運営について、いろいろなアドバイスを頂く機会として捉えている。もっと詳しく関わりたという委員のご意見はありがたい。各講座などには、参加もしくは見学できる機会を設けるように配慮させて頂く。

運営委員会の開催回数については、2回の実施することになっているのでご了承いただきたい。

他に意見等はなく、令和4年度事業報告については承認。

(2) 令和5年度久留米市三潯生涯学習センター事業計画

事務局から、「令和5年度久留米市三潯生涯学習センター事業計画(案)」に基づき説明。

B委員) 尚寿大学について、受講者は180人であるということで、去年の人数制限と同じく、今年も制限をするということでよいか。

事務局) 昨年の実施状況が、三潯地域の尚寿会の方々に150人程度応募頂いているが、各回、凡そ100人程度に参加頂いている。それに加えて、一般公募参加者も、各回20人弱の参加で、合計120人程度となっている。

令和5年度は尚寿会の150人には上限を設けない方向としたいと考えている。

A委員) 私の住む地区は4年度は8人にしてくださいなどあったが、参加する人は誰でもいいという解釈でよいか。

事務局) 尚寿会にあっては、別途、地区単位での理事会が開催されると思う

が、参加人数の上限を設けないこととしたい。今まで参加できなかった方にも参加頂きたい。

B委員) 現実には、申込者が多くても、実際に出席される方が、それに満たないという場合が多い。そのため、4年度は一回につき100人前後であると整理している。この施設の定員は250人なので、一般公募が30人であれば、尚寿会は220人の上限となる。上限を設けなくとも、その数字までは達しないのではないか。今回の募集は制限を掛けない。

A委員) 私の住む地区の尚寿会では、尚寿大学の件が話題となって、尚寿大学8回の参加を募集したらどうかという提案があった。尚寿大学の中身が非常に良いものだと言われ知って頂いているが、参加するにも移動の事故が怖い。私の地区独自の取り組みであれば、保険の対象となるが、三潁生涯学習センターの取り組みであれば、保険の対象にならない。しかし募集案内が来たら、尚寿会全員に案内を出して、多くの方に参加をして貰おうということになる。また、何回も参加している方は辞退するようにと議論もあった。

他に意見等はなく、令和5年度事業計画については承認。

3 その他

事務局から、報告事項として

「三潁生涯学習センター維持補修事業について」、
「空き室開放（無料学習室）事業の結果について」、
「令和4年度久留米市三潁生涯学習センター利用状況」
に基づき報告。

A委員) 稼働率は、コロナ前の状況まで回復しているという説明だが、今後も稼働率は上がっていくという理解で良いか。

事務局) 6年前の状況では、稼働率は26パーセント程度であったと記憶している。その後、様々な方に知って頂きながら、施設を利用して頂くということで、主催講座の広報、あるいはHP、LINEでの募集などを行うということに取り組んできた。コロナ前の平成31年度・令和元年度が30.8パーセントであった。今年度は2月末で33.8パーセントで数字的にはかなり高い数字となっている。コロナ対策が進んできたので、今後についても稼働率は伸ばしていきたい。

弥吉委員) 隣に犬塚校区コミュニティセンターがあるが、同じような施

設ではないが、そちらも常駐して活動しているので、同じ部屋の大きさで賃料はどうなっているのか。三潁生涯学習センターに影響はあるのか。

事務局) 犬塚校区コミュニティセンターは地元の犬塚校区の方々に利用して頂いている施設と認識している。こちらの施設が塞がっていて、犬塚コミュニティセンターを利用して頂くこともある。その反対もある。共存共栄できているのではないかと考えている。利用者の取り扱いという認識はない。賃料については、部屋のサイズも異なっており、大差は無い賃料となっている。

C委員) 空き室開放について、良い取り組みだと考えている。コロナ流行以前は、ロビーにも机を置いてあり、不登校など児童対応の場として利用したこともあったが、現在は机が撤去されており、状況によっては机を出して頂くことは出来ないか。部屋でなくとも気軽に勉強が出来るのではないかと思う。(要望)

事務局) ロビーの利用状況については、コロナ禍になって、人が密接するような椅子の使い方が制限されたことと、一つのテーブルで相対して利用することが出来ない状況であったため、利用を制限させて頂いた。5月8日から5類対応ということになってくる。その中で利用しやすい施設に戻していく活動をしていく必要があると考える。出来る限り感染対策をしながら進めていく。

4 閉会

内田すなを副委員長

(14:37 終了)